

産業連関表って何？



産業連関表とは・・・

ある地域内の1年間の経済活動について、産業間や産業と消費者などの財・サービスの取引関係を一つの表にまとめたもの。

産業連関表を見ることで何がわかるの？

- ①産業間の取引関係
- ②産業が生産したモノやサービスの消費や移輸出などの最終需要の状況
- ③産業の雇用者所得や営業余剰などの付加価値の状況

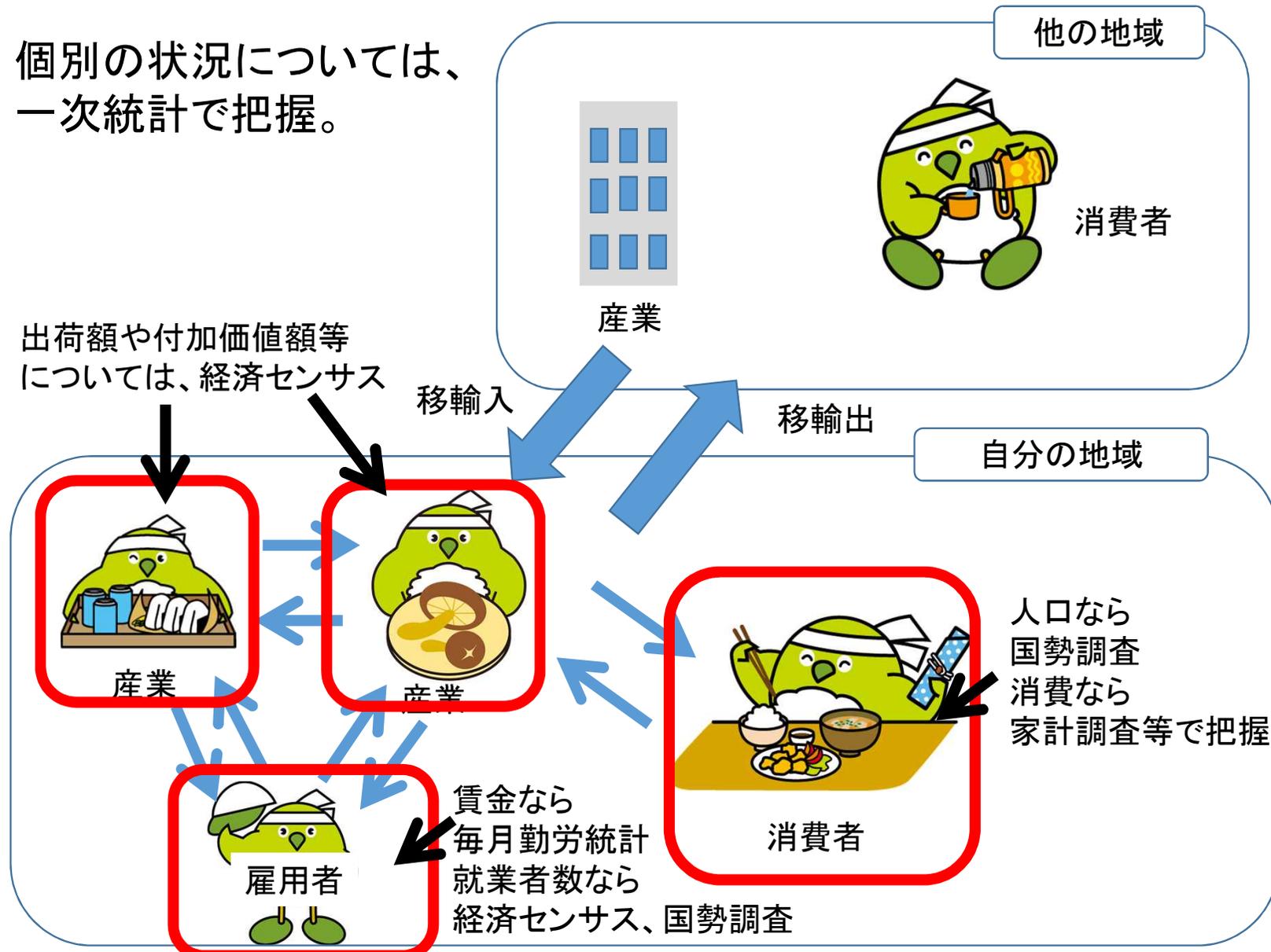
などを一つの表で表していることに最大の特徴がある。

なぜそれを見ることが必要なの？

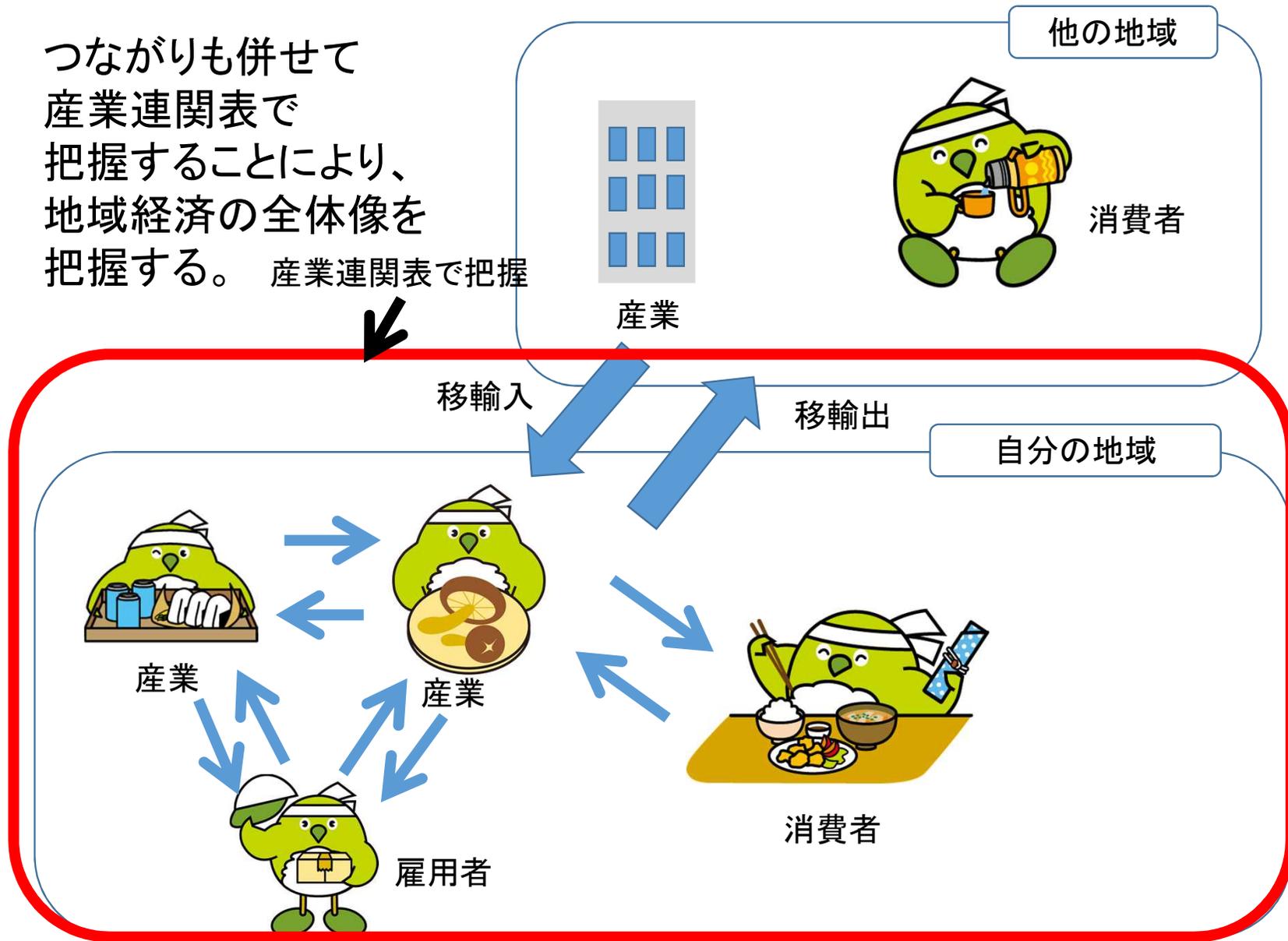
一次統計（経済センサス、国勢調査等）のデータを積み上げても地域経済の全体像や財・サービスの取引、他の地域との取引などは把握できないから。

個別の状況については、
一次統計で把握。

出荷額や付加価値額等
については、経済センサス



つながりも併せて
産業連関表で
把握することにより、
地域経済の全体像を
把握する。 産業連関表で把握



産業連関表と他の統計との位置づけ

産業連関表

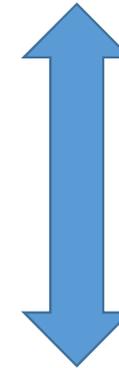
(産業に着目し、各産業からの経済の流れをみる。)

県民経済計算

(生産・所得・支出により、大きな経済の流れをみる。)



より大きな視野
(マクロ的視点)



一次統計
(経済センサス
国勢調査等)

(ミクロ的視点)
より細かい視野



(各種調査の結果により、詳細に中身を把握する。)